

『日向ぼっこ』 作：ポチ子

彼氏 「床に寝っ転がって、何してるの？」

彼女 「見た通り、日向ぼっこ。」

彼氏 「部屋の中、極寒なのに？」

彼女 「だから、日向ぼっこしてるんですよ。寒いから！！」

彼氏 「エアコンつけばいいじゃない。」

彼女 「秋にエアコンを使うなんて、負けた気がする。」

彼氏 「何に。」

彼女 「己に。」

彼氏 「かっこよくないよ、その自分との闘い。」

彼女 「あんたこそ、太陽様のぬくもりをなめてるんじゃないの。」

彼氏 「もう、ぐだぐだ言っていないで、床冷たいし、風邪ひくよ

ー。今日休みなんでしょ？エアコン使いたくないなら、

せめてベットに戻れば？」

彼女 「寒くて、一步も動けません。」

彼氏 「馬鹿だなあ……。ちよっと待ってて」

彼氏、寝室から毛布を持ってくる。

彼氏 「はい、ちょっと寄って。」

彼女 「なに？」

彼氏 「ベッドに戻らないんでしょ？毛布持ってきたから、僕もここで日向ぼっこする。・・・うわ！！冷たい！！床、キンキンじゃん！」

彼女 「でしょ？」

彼氏 「なんでちょっとドヤ顔なの。ほんと、大人しくエアコンつけばいいのに。」

彼女 「断固として拒否する。」

彼氏 「はぁ・・・ほら、こっち寄って。くっつけば、ちょっとは暖かいでしょ。うわ！冷たっ！・・・ここにどのくらい居たの。」

彼女 「1時間くらい？」

彼氏 「いちっ・・・！？もう、ほんとに風邪ひくんだからね。」

今度からはちゃんとエアコンつけること！いいね！」

彼女 「・・・。」

彼氏 「そこ、不満げな顔しない。」

彼女 「・・・あったかいなあ。」

彼氏 「エアコンつければ、もっと暖かいよ。」

彼女 「私はこっちのほうがいいの。」